くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

令和元年度

地域ニーズ反映の仕組み

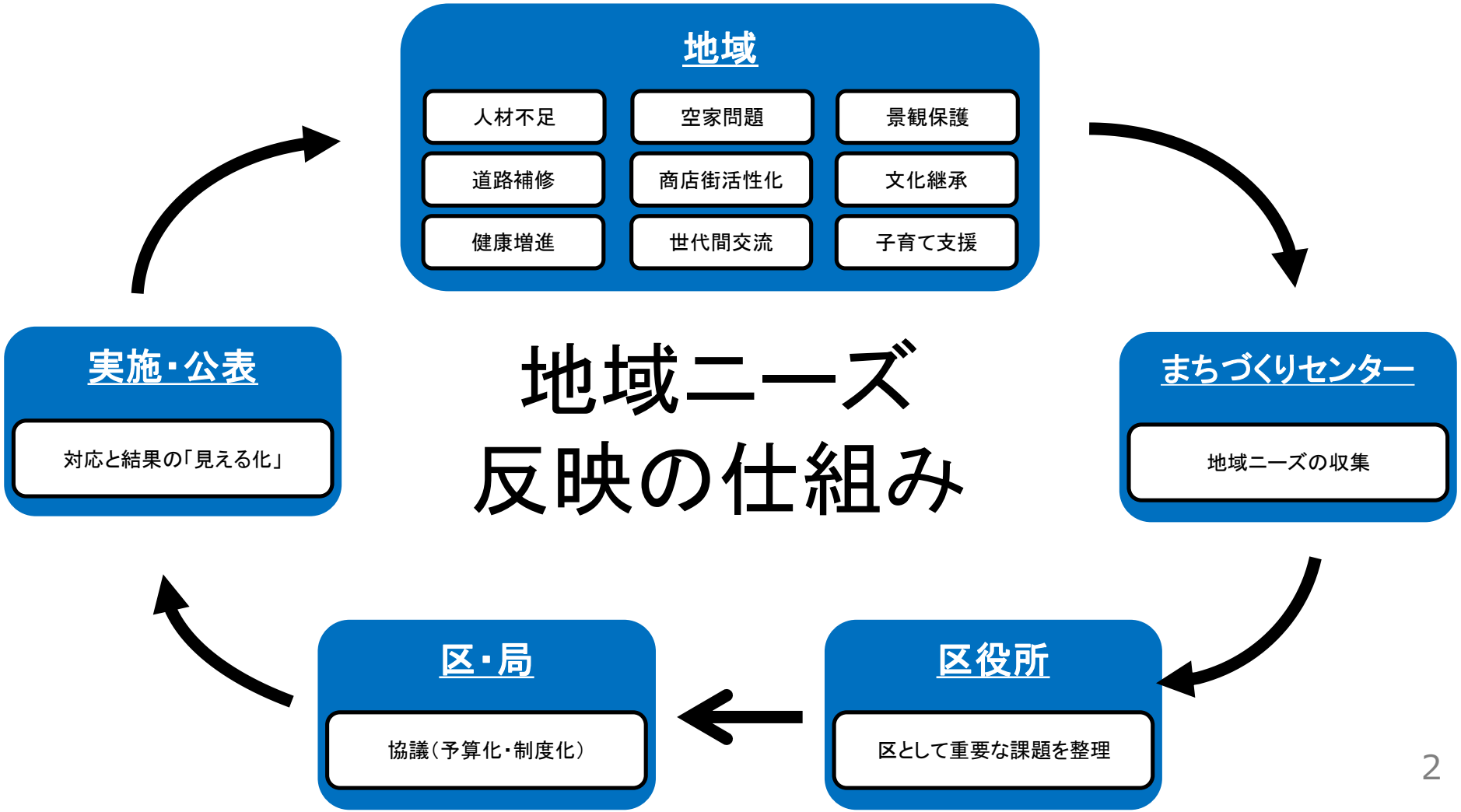
協議結果

令和２年（２０２０年）３月

1　地域ニーズ反映の仕組みとは？

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

まちづくりセンターなどの区役所が把握した地域のニーズを区と本庁が協議し、市の施策に反映させる仕組みです。



2　課題の選定

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

● まちづくりセンターで受けた日常的な相談・要望件数・・・**1,079件（対応中212件）**

※H30.8月-R1.7月

分野	その他市政全般	環境・緑化	経済・農業	健康・福祉	子育て・子ども	人権・学び・文化・スポーツ	地域活動全般	都市づくり・景観・公園	防災	防犯	総計	
総計	125	195	17	45	7	18	238	314	74	46	1,079	
対応済	106	162	12	37	7	18	198	232	58	37	867	80.4%
対応中	19	33	5	8			40	82	16	9	212	19.6%

整理

アンケート、ワークショップ、地域会議出席、意見交換会、窓口での直接要望、住民との日常的な会話など、様々な方法で**収集した地域ニーズを踏まえ、特に区として重要な課題を選定**。

● 令和元年度　地域ニーズ反映の仕組みの課題数・・・**10件**

中央区	東区	西区	南区	北区
3件	2件	2件	1件	2件

2　課題の選定

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

●協議の流れ

担当者協議（8月～9月） — 10件

◆局の既存計画や考え方の情報共有
◆具体的課題の情報共有
◆課題解決へ向けた前向きな協議

関係課長協議（10月～11月） — 4件

◆具体的な方向性が定まらなかったもの
◆「対応しない」場合でも、解決を図りたいもの
◆「対応する」内容が不十分であるもの

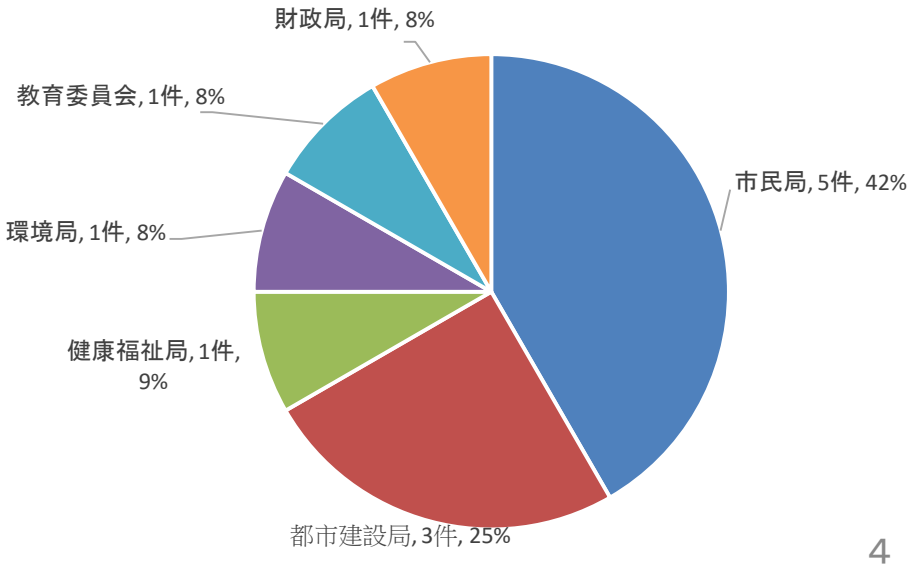
区長・局長協議 — 0件

◆具体的な方向性が定まらなかったもの
◆局間の調整が必要な課題

●協議結果

対応する	8
対応する（予算対応）	5
対応する（予算不要）	3
対応しない 代替案の提案や理解を求めるもの	1
継続協議	1
合計	10

●協議相手方



3　協議結果

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

対応する

対応しない（代替案の提案や理解を求めるもの）

引き続き調整

区	件名	対応	関係局
中央区	城東校区地域コミュニティセンター建設（蓮政寺公園利活用）	引き続き調整	都市建設局 市民局
	地域コミュニティセンターの運営状況改善	引き続き調整	市民局 教育委員会
	大江校区における民有地の遺贈受入れ	対応する	財政局 市民局
東　区	分散備蓄倉庫の配備（建物のある避難場所）	対応する	政策局
	公園の利用許可基準の明確化	対応する	都市建設局
西　区	西部高齢者生きがい作業所トイレ洋式化への寄附受け入れ	対応する	健康福祉局
	河内町の空家対策	対応する	都市建設局 農水局
南　区	防犯灯新設補助金の増額（南地区）	対応する	市民局
北　区	町内自治会への加入促進	対応する	市民局
	ごみステーション施設整備に係る補助金新設	対応する	環境局

分散備蓄倉庫の配備（建物がある指定緊急避難場所）

避難所運営委員会の設立を進めている16か所の「建物がある指定緊急避難場所」には、避難者の受入れを想定しているにも関わらず、分散備蓄倉庫を配備されていない。分散備蓄倉庫を配備すべき。

【協議結果】

避難者の受入れを想定している16か所の「避難場所」に令和2年度中に分散備蓄倉庫を配備します。
※分散備蓄倉庫には、避難所運営時に必要な資機材や非常用食料等を保管しています。

区	分散備蓄倉庫を配備する避難場所
中央区	湧心館高校、熊本学園大学、熊本大学大江体育館、熊本大学黒髪運動場・黒髪体育館、熊本大学本荘体育館 済々黌高校、熊本商業高校、熊本工業高校、熊本高校
東　区	熊本県立大学、第二高校、東稜高校
西　区	熊本西高校、西部環境工場
南　区	熊本農業高校
北　区	熊本北高校

分散備蓄倉庫を配備する建物がある指定緊急避難場所一覧



分散備蓄倉庫のイメージ

公園の利用許可基準の明確化

現在、公園の利用許可基準が明確でないため、申請後に利用内容の大幅な修正が必要になるなど、住民の大きな負担となっている。
公園の更なる利活用のためにも、公園の利用許可基準を明確化する必要がある。

【協議結果】

市民の負担軽減と公園の利活用を推進するため、許可基準を明確化します。

【公園利活用の事例】舞鶴公園（福岡）
移動図書館、バーベキューガーデン、ランニングステーション





【公園利活用の事例】四ツ角マーケット



くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

防犯灯新設補助金の増額（南地区）

南地区防犯協会の管轄地域（南区全域と中央区、西区の一部）では、町内自治会が防犯灯を新設する際の補助金のニーズが極めて高い。（34灯の枠に対して、最大約110灯）より多くの防犯灯の新設を補助するため、補助金予算の増額が必要。

【協議結果】

他の地区と比較し、防犯灯新設補助金への極めて高いニーズを踏まえ、令和2年度の南地区の防犯灯新設補助金予算を増額し、補助枠を拡大します。

【参考】防犯灯新設補助金の変更点

	R元年度	R2年度
防犯灯1灯あたりの補助額	8,500円	8,500円
防犯灯新設補助金の枠	34灯分	69灯分（予定）



防犯灯のイメージ図

4　協議の詳細（一部抜粋）

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

町内自治会への加入促進

町内自治会加入率の低下は、町内自治会の運営を根幹から揺るがす大きな問題である。
加入促進キャンペーンの開催や宅建協会や不動産会社との連携などの実施が必要。

【協議結果】

令和元年度に町内自治会の活動状況や存在意義などの基礎的な広報・啓発を行ってきました。（タウン情報誌掲載、小中学校への出前講座、活動体験、啓発動画作成など）
また、2020年1月-2月に熊本市役所本庁舎1階ロビーに「町内自治会加入促進ブース」を設置し、新しく作成したポスター等を掲示しました。
今後、町内自治会加入促進に関する不動産会社等との連携に向けて調整を行っていきます。



新たに作成したポスター



新たに作成した啓発動画
https://kumamoto-lls.com/
「みんなのちいき」ホームページより



町内自治会加入促進ブース

くまもと ACTION
私たちは上質な生活都市を実現します

ごみステーション施設整備に係る補助金新設

不法投棄や資源物等の持ち去り対策として、「ごみステーション施設」を必要とする町内自治会が増加している。しかし、町内自治会の費用負担が大きく設置が進んでいない。支援策を検討すべき。

【協議結果】

令和元年度に実施した町内自治会長を対象としたアンケート結果等を踏まえ、令和２年度から補助制度を新設します。補助制度の詳細が決まり次第、ご案内します。





「ごみステーション施設」のイメージ

校区防災連絡会等への補助金交付 ※H30協議分

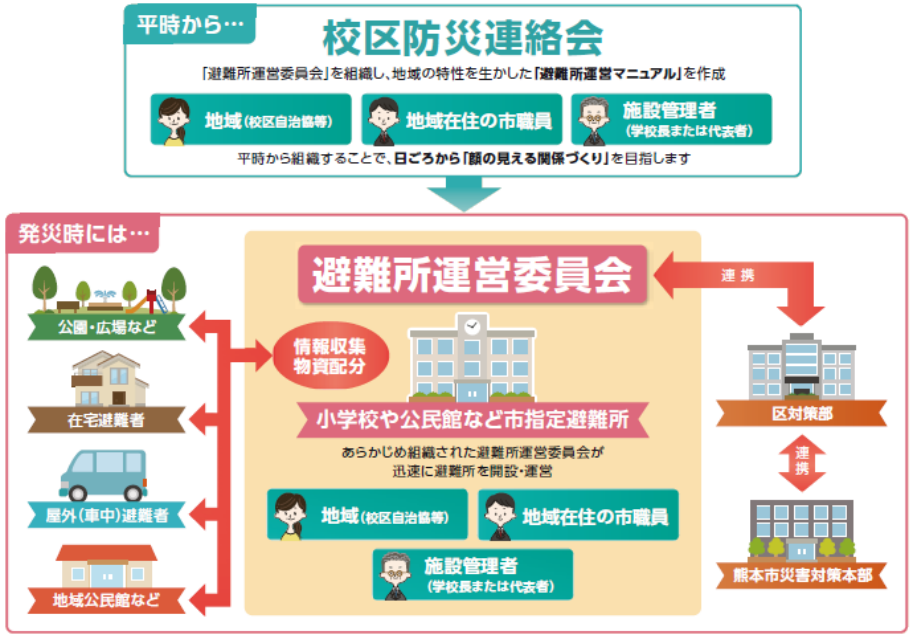
本市の防災・減災の取り組みの核となる地域の自主防災組織である「校区防災連絡会等」は自主財源がないため、避難訓練等の活動を維持していくことが困難。
補助金の新設も含め、支援策について検討すべき。

【協議結果】

避難所運営委員会の活動に対して、令和2年度に補助制度を創設することにより、地域防災力の向上を図ります。（1避難所運営委員会あたり年3万円を予定）

平時から地域・施設管理者・行政が顔の見える関係づくりに努め、災害時の体制を事前に構築しておくことを目的として、校区ごとに校区自治協議会、避難所となる施設の管理者、地域在住の市職員等で構成する「校区防災連絡会」の設置を進めています。

また、校区防災連絡会では、避難所ごとに「避難所運営委員会」を組織し、発災時には迅速な避難所の開設・運営を行うこととしています。



蓮政寺公園の利活用について

鶴屋裏に位置する蓮政寺公園について、賑わい創出の拠点や住民憩いの場所、非常時の防災機能、小泉八雲旧居との相互連携など、中心市街地にふさわしい公園として更なる利活用を図るべき。

【協議結果】

住民、観光客、公園利用者、近隣事業者など、様々な主体から公園利活用に関するニーズを収集し、それを踏まえた蓮政寺公園の利活用・魅力向上の取り組みを検討していきます。



休憩の様子



隣接する小泉八雲旧居

5　例年のスケジュール

“**地域ニーズ反映の仕組み**”は、年に1回、予算の要求時期に合わせたスケジュールで実施していきます。

日　程	内　容
5月-6月頃	課題の選定
7月-10月頃	区と本庁の協議
11月頃	予算要求
3～5月頃	結果の公表

【問い合わせ先】
熊本市地域政策課　TEL096-328-2031